

令和3年度全国高等学校教育改革研究協議会

グループ討議資料

「大阪市立の商業高校魅力化に向けた取組」

令和4年4月
大阪市立高校から
大阪府立高校へ

キミの未来に
商業高校という
選択

推薦で
有利に進学!

高度な
資格取得

就職内定率
100%

伝わる!
プレゼンカ

企業の
即戦力!

大阪市教育委員会事務局
指導部高等学校教育担当
指導主事 大中 真太郎

商業高校の現状と原因分析

令和3年度入学者選抜試験の志願者倍率

※小数第3以下四捨五入

大阪ビジネス フロンティア	淀商業高校	鶴見商業高校	住吉商業高校
1.10倍	0.91倍	0.77倍	0.86倍

入試倍率低迷の原因

- ・ 商業高校での学びが中学生に見えにくい
- ・ 商業高校 = 「就職」とイメージしてしまう
- ・ 高校卒業後の選択肢が狭くなると感じてしまう



中学生の
進路選択の
1つにならない

商業高校の必要性

- 商業高校は大阪の産業を担う大切な存在
- 情報教育や大学産業界と連携した学びを展開



- 前に踏み出す力・考え抜く力・チームで協力する力の習得
- ビジネス系の専門分野のスキルを習得



- ビジネス系スキルと探究型学習を活用して
有利に四年制大学へ進学する生徒が多い

➡ 中学生にとって必要な選択肢となる

大阪ビジネス フロンティア高校

高度なビジネススキルと
探究型学習で**有利に進学!**
四年制大学をめざそう!

淀商業高校

アントレプレナーチャ
レンジで**実践力**を磨き
地域社会を明るくする!

4校で
魅力化の
実現

鶴見商業高校

キミのアイデアをカタチに!
商品開発でビジネスの
力を身につけよう!

住吉商業高校

地域の**魅力**を再発見!
観光を学び
将来の**夢**につなげる!

商業高校魅力化に向けた取り組み①

令和2年度：各校 魅力化に向けた実施計画書の作成

令和3年度：魅力化に向けた実施計画書に基づき取り組みを開始

■大阪市教育委員会主催 商業高校魅力化プロジェクト会議 月1回

- － 広報活動・取組内容の進捗状況について確認し指導助言を実施
- － 将来の商業教育について意見交換

■見えてきた新たな課題

- － 簿記や情報処理などの学びを難しく感じる生徒の増加
- － 資格試験に偏った学習によって生徒の関心意欲が低下

商業高校魅力化に向けた取り組み②

■商業の授業改善を行う研究会議を組織 月1回研究会議を実施

(4校から商業科教員各1名参加)

目的：商業教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けた
授業と評価手法の研究

内容：生徒が興味関心を持ち主体的に学習に取り組める授業の研究

各校で実践した授業内容（教材）を共有

生徒の変化を確認しながら教材を改善

取り組み成果の研究発表会の実施（12月8日実施予定）

商業高校魅力化に向けた取り組み③

■今後の展望

- ・ 検定試験の取得を主とした授業からの脱却
- ・ ビジネスを探究する授業の導入（現行の授業スタイルの見直し）
- ・ 進路選択に必要な学びを生徒が自ら考え進むためのキャリア教育
- ・ 授業における教員のファシリテート力の向上
- ・ 生徒がビジネスの学びに面白さを感じられる授業の展開
- ・ 大学産業界と連携し、協働で教育するシステムの構築
- ・ 中学生とその保護者から認められる学校へ